

「ピーク対応」について

2012年4月1日

飯田哲也 (いいた てつなり)



環境エネルギー政策研究所

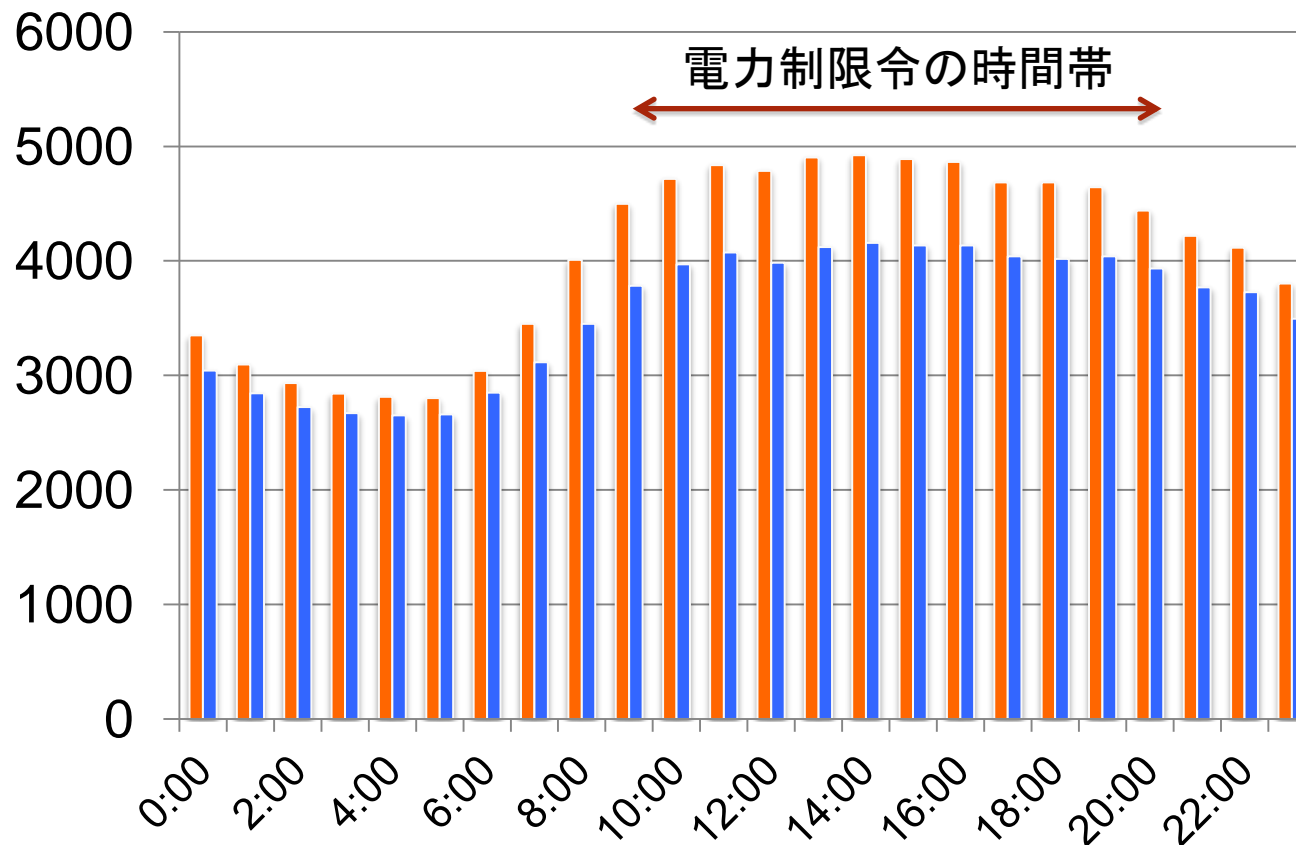
1. (意見) 昨年の結果の検証について

2) 昨年のような電力制限令を繰り返してはならない

★需給の厳しくない日・時間帯にまで15%節電令を課す愚策

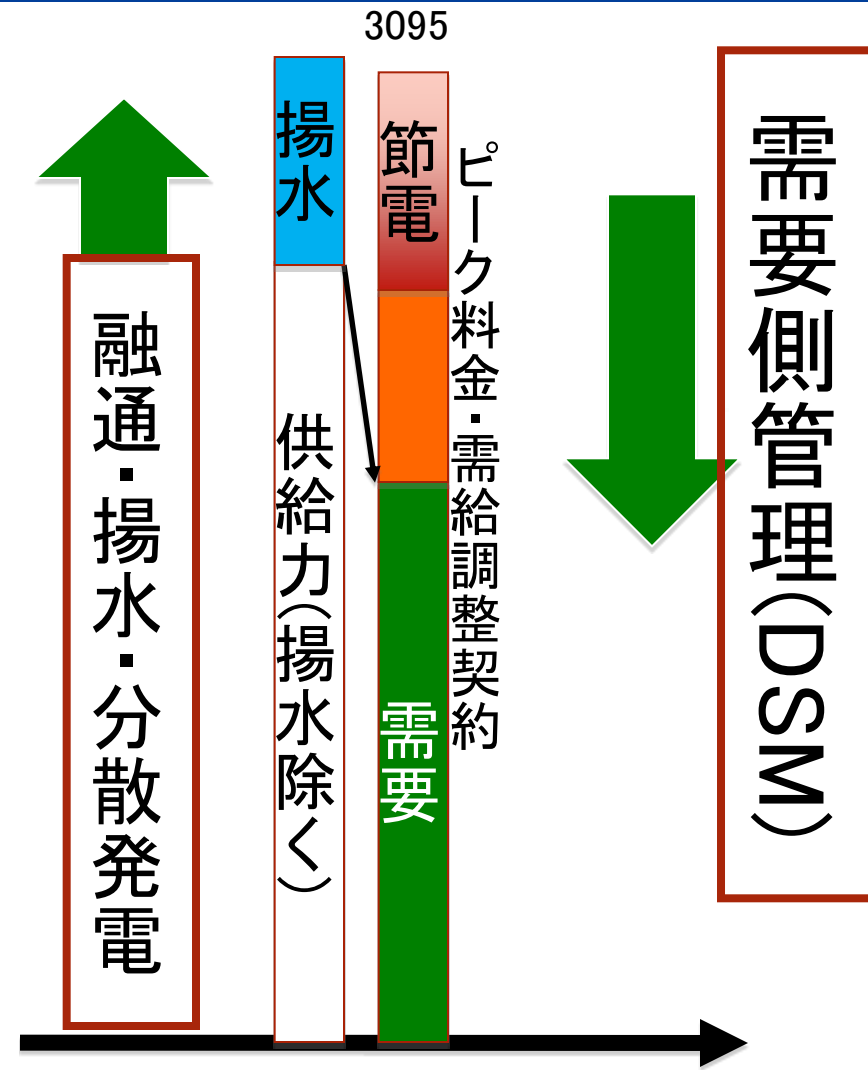
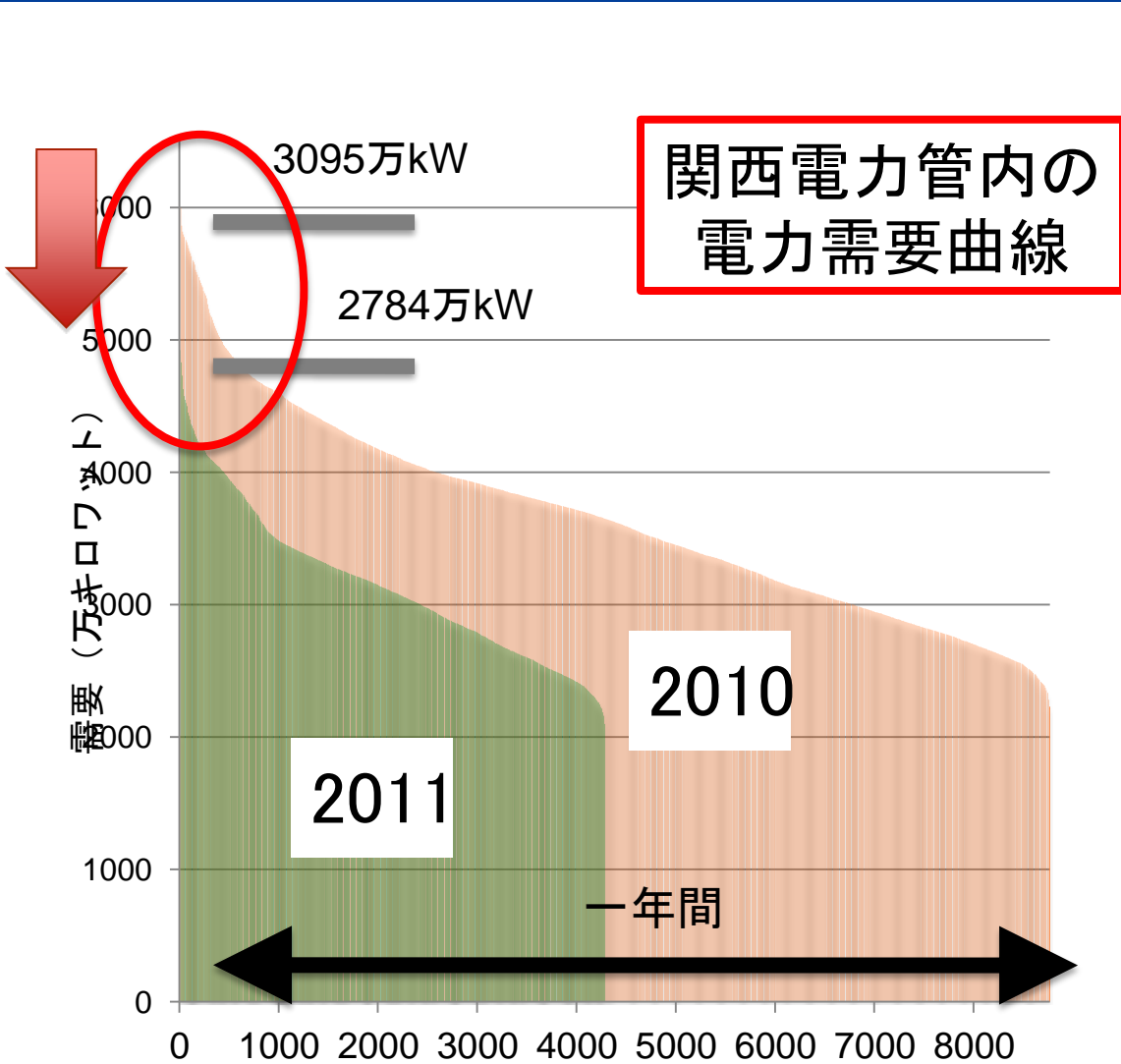
★本当に需要の厳しいときにピークを下げる措置

2011年の東京電力の電力需要(7/8と8/17)

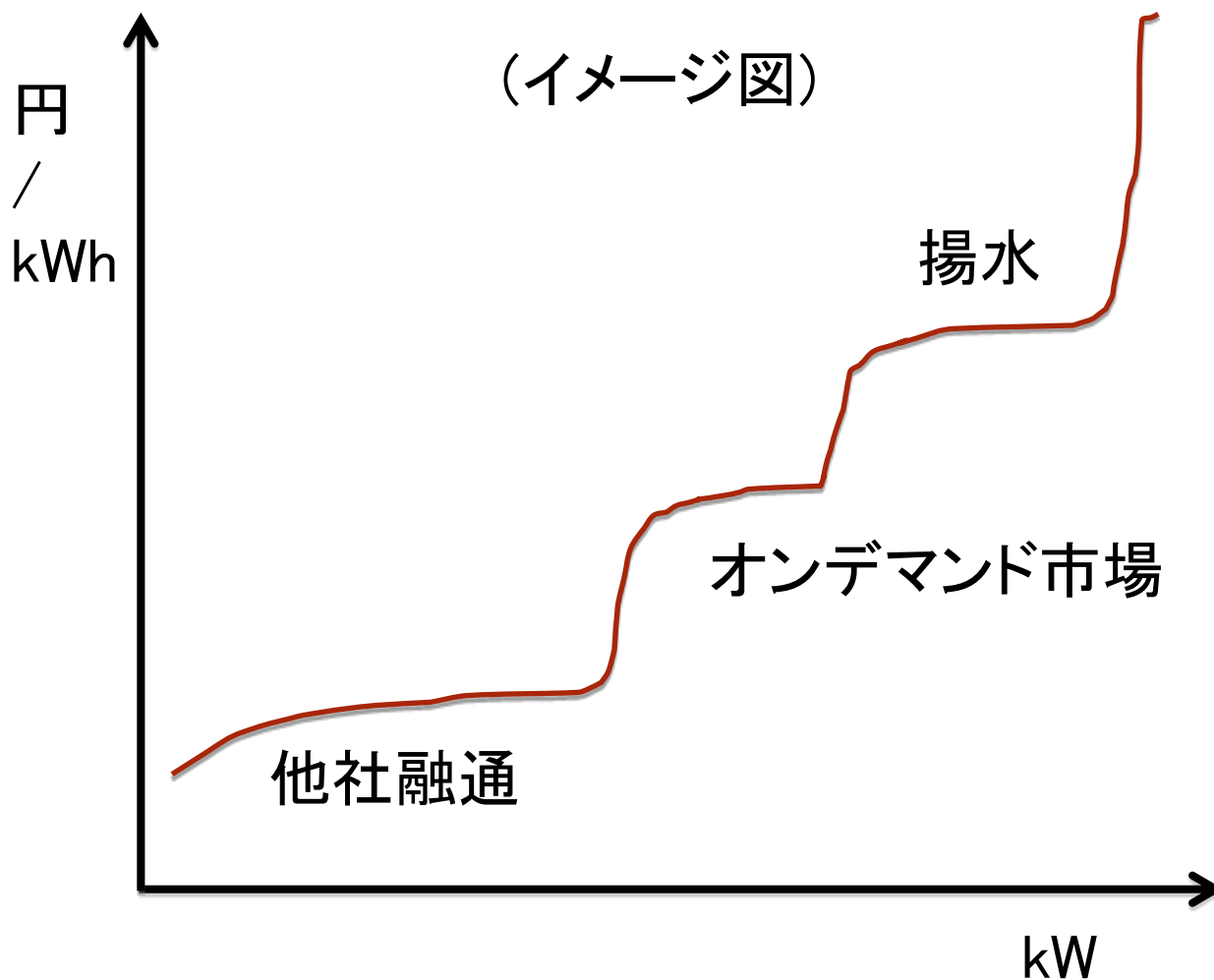


8/17(赤)
7/8(青)

2. (提案)ピークマネジメントについて



2. (提案)ピークマネジメントについて ピーク電力費用曲線を作る



各電力会社が左図のような「ピーク電力費用曲線」を公開すればピーク対応能力とその費用が分かるのではないか

2. (提案)ピークマネジメントについて オンデマンド電力市場を作る

(イメージ図)

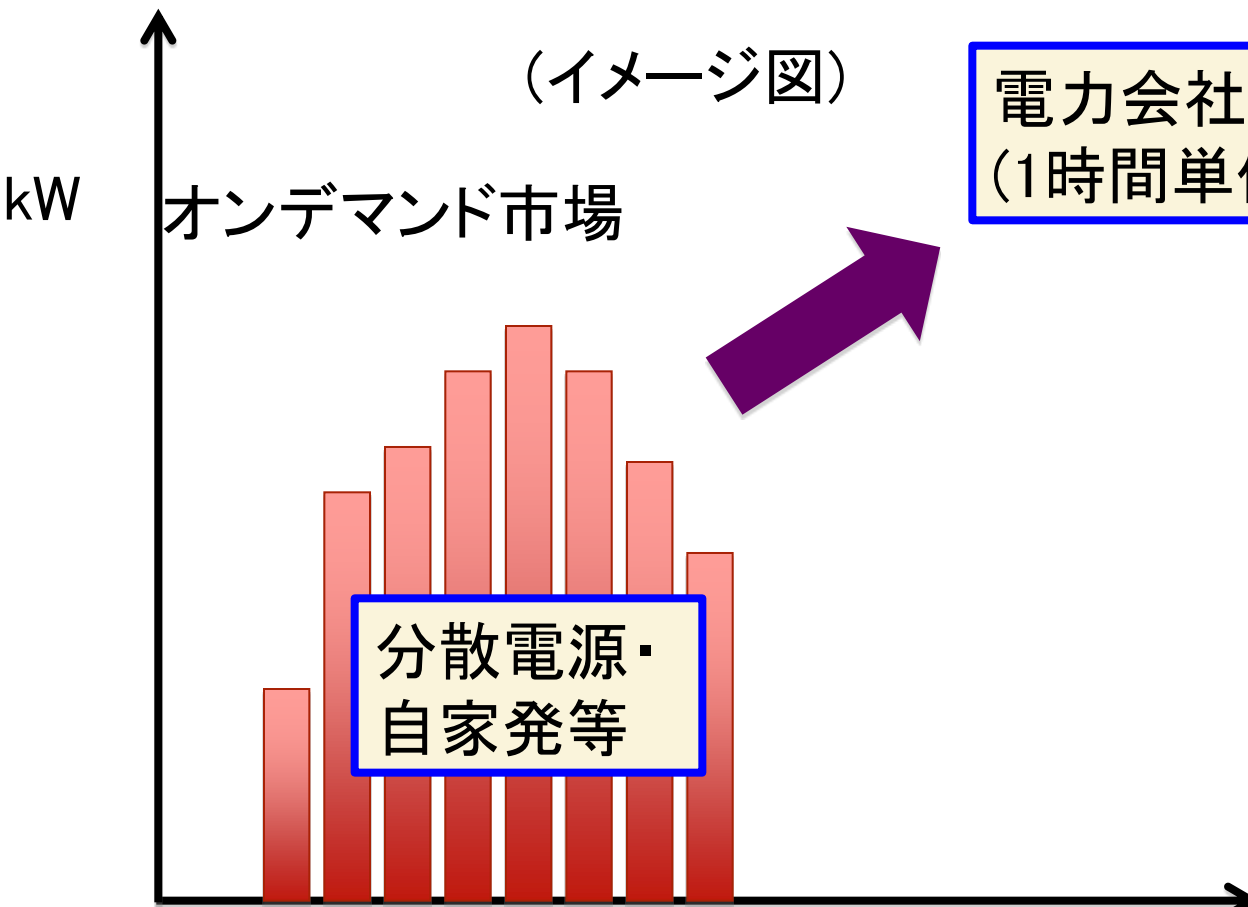
電力会社による買上げ
(1時間単位・安い順に)

ピーク時のみに限定して
1時間単位で分散電源・
自家発等を適正な高値で
買い上げる「オンデマンド
電力市場」(メリットオーダー
市場)を作ってはどうか
※常に翌日の日中について
前日に入札しておく

分散電源・
自家発等

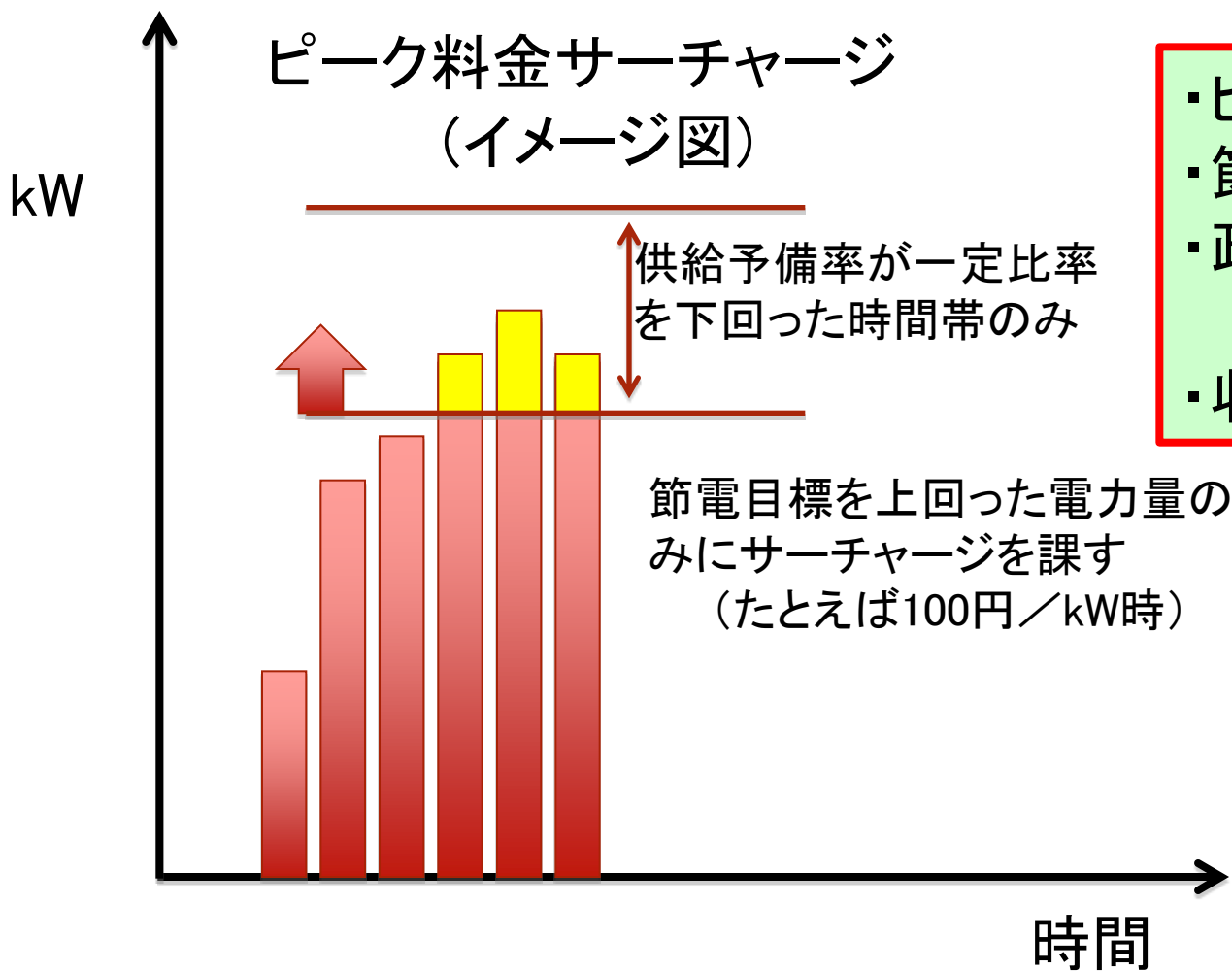
オンデマンド市場

時間



2. (提案)ピークマネジメントについて 需給調整契約の拡充+ピーク料金

- 1) (需要側)需給調整契約を原則全大口需要家へ拡大適用する
- 2) (需要側)ピーク料金サーチャージ(下図)



- ・ピーク時間帯に限定
- ・節電目標水準を越えた部分
- ・政府のサーチャージ
(電力会社の収入としない)
- ・収入は省エネ支援等に使う